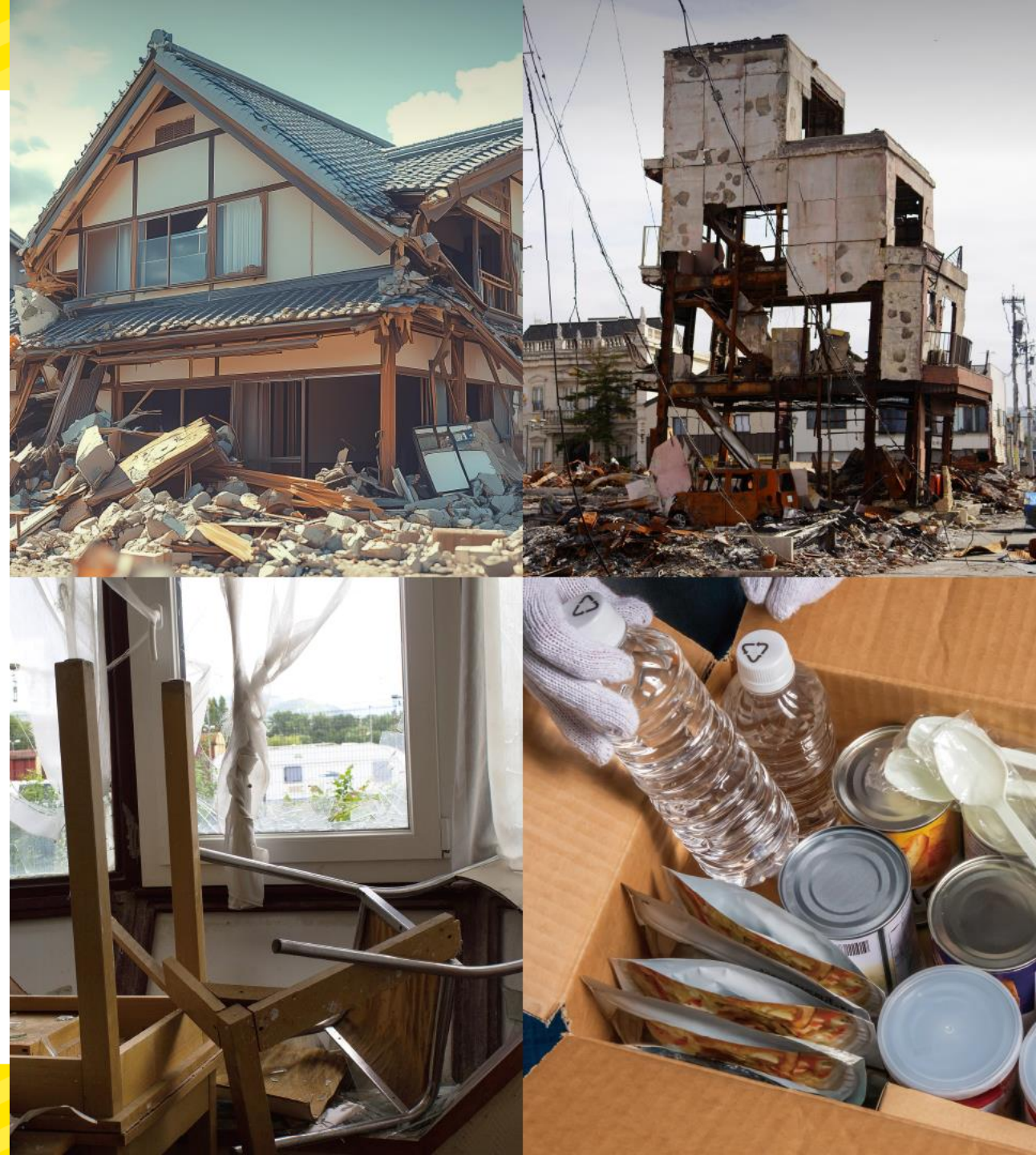


地震への備え

令和 6 年能登半島地震及び

令和 7 年地震被害想定調査から学ぶこと

 石川県 | 石川県危機管理部危機対策課



はじめに

令和6年1月1日、石川県の能登半島で大きな地震が起きました。この地震では、**最大震度7**が観測され、能登半島全体に大きな被害が出ました。特に輪島市や珠洲市では、多くの住宅が全壊や半壊し、水道が止まったり道路が使えなくなったりするなど、避難や支援活動がとても困難になりました。

地震はいつ、どこで起きるか分かりません。

だからこそ、私たちは次に起こる災害に備えて、日ごろから準備をしておくことが大切です。

その1

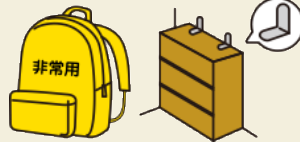
想定外の地震にも備える



どこでどんな被害が発生するか、確認してみましょう。

その2

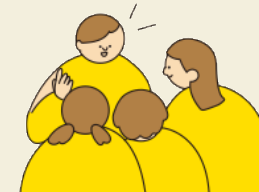
一人ひとりの備えが被害を減らす



建物の耐震化や家具の固定、非常用持ち出し袋の準備など、普段からの備えが大切です。

その3

できることから始めよう



もう一度、自分の家や身の回りの備えを見直してみましょう。

令和6年

能登半島地震の概要

- 令和6年能登半島地震の概要
- ここでちょっと一息…



令和6年能登半島地震の概要

- ① 発生時刻 令和6年1月1日16時10分
- ② 震源地 石川県能登地方（震源の深さ 16 k m）
- ③ 地震の規模 マグニチュード7.6（最大）
- ④ 県内の被害

○人的・住家被害の状況

死者 605人（うち災害関連死377人）
 負傷者 1,270人（うち重傷394人）
 行方不明者 2人
 住家被害 116,282棟（うち全壊 6,161棟）

○避難者の状況

【最大】約34,000人 → 【現在】0人

（令和7年6月30日14時時点）

発災時の 各地の最大震度



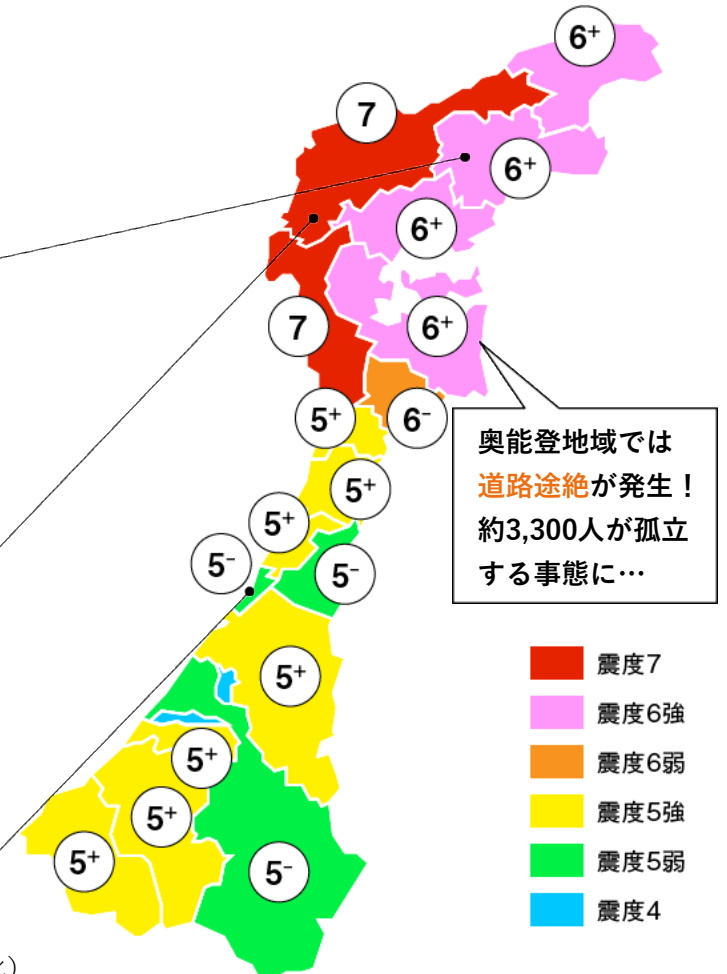
能登町白丸地内



輪島市河井町地内



内灘町西荒屋地内（液状化）



ここでちょっと一息…

?

皆さんの地域では
どんな被害が発生しましたか？

地震被害想定結果の

お知らせ

- 今後、起こり得る地震被害
（地震被害想定結果）
- ここでちょっと一息…
- 被害そのものを減らすには？
- 住宅の耐震改修に対する補助制度
- 家の中の危険をなくそう
- 感震ブレーカーの設置に
対する補助制度



地震被害想定結果のお知らせ

県では、国の活断層に関する最新の研究成果に基づき、県内に影響を及ぼす9つの断層帯を対象に地震被害想定調査を行い、令和7年5月に公表しました。



すべての市や町で、最大震度6強以上が想定

県内全域で、地震への備えが必要です。

詳細は、石川県地震被害想定で検索



今後、起こり得る地震被害（地震被害想定結果）

森本・富樫断層帯の被害想定結果 ※建物被害・人的被害・避難者数が県内最大

全壊・全焼

(納屋や倉庫含む)

約**4万7千**棟

県内の建物棟数：約61万棟（R5固定資産台帳）

死者

約**2千2百**人

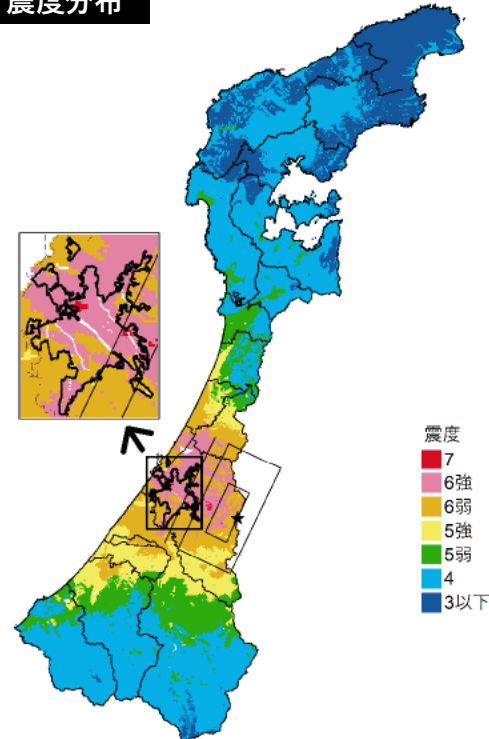
県内の人口：約110万人（R7.5住民基本台帳）

避難者

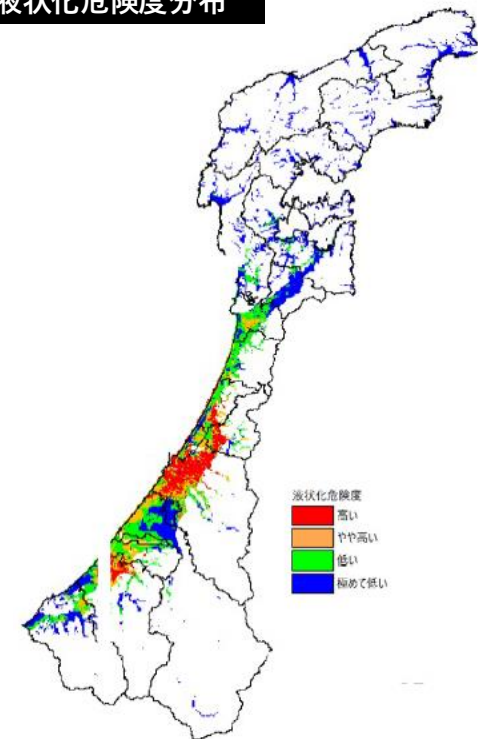
約**19万2千**人

県内の人口：約110万人（R7.5住民基本台帳）

震度分布



液状化危険度分布



今後、起こり得る地震被害（地震被害想定結果）

奥能登地区の被害想定結果

各市町で最も被害が大きくなった地震の被害想定結果を記載
全壊棟数には非住家（納屋や倉庫）を含む

輪島市

全壊・全焼 約8,500棟

死者 約500人

避難者 約13,700人

穴水町

全壊・全焼 約800棟

死者 約50人

避難者 約1500人



珠洲市

全壊・全焼 約11,500棟

死者 約660人

避難者 約8,000人

能登町

全壊・全焼 約4,200棟

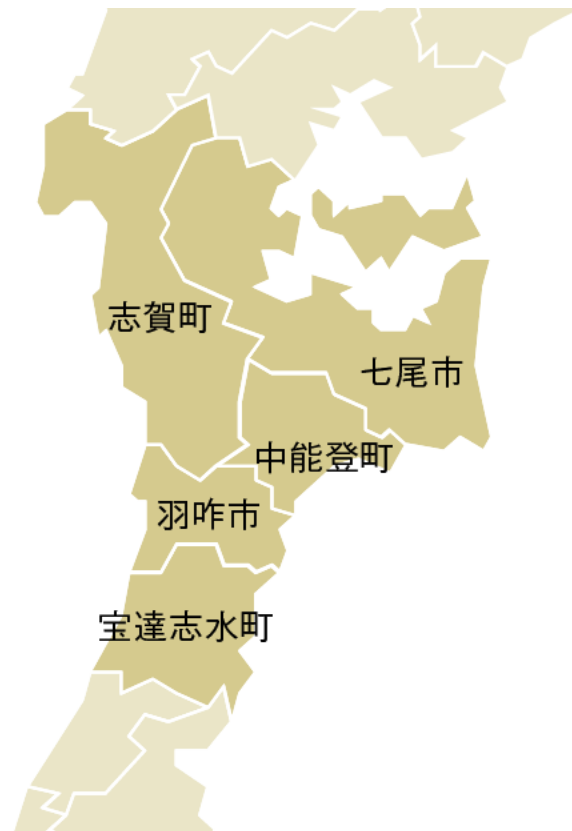
死者 約240人

避難者 約5,800人

今後、起こり得る地震被害（地震被害想定結果）

中能登地区の被害想定結果

各市町で最も被害が大きくなった地震の被害想定結果を記載
全壊棟数には非住家（納屋や倉庫）を含む



志賀町

全壊・全焼	約4,700棟
死者	約240人
避難者	約5,300人

宝達志水町

全壊・全焼	約1,900棟
死者	約100人
避難者	約4,600人

七尾市

全壊・全焼	約15,500棟
死者	約850人
避難者	約24,600人

羽咋市

全壊・全焼	約3,700棟
死者	約180人
避難者	約7,000人

中能登町

全壊・全焼	約4,000棟
死者	約210人
避難者	約5,200人

今後、起こり得る地震被害（地震被害想定結果）

県央地区の被害想定結果

各市町で最も被害が大きくなった地震の被害想定結果を記載
全壊棟数には非住家（納屋や倉庫）を含む



かほく市

全壊・全焼	約5,300棟
死 者	約280人
避 難 者	約13,000人

内灘町

全壊・全焼	約2,100棟
死 者	約90人
避 難 者	約8,300人

野々市市

全壊・全焼	約1,300棟
死 者	約60人
避 難 者	約8,300人

津幡町

全壊・全焼	約1,800棟
死 者	約90人
避 難 者	約11,100人

金沢市

全壊・全焼	約35,900棟
死 者	約1,790人
避 難 者	約144,300人

白山市

全壊・全焼	約3,300棟
死 者	約180人
避 難 者	約12,200人

今後、起こり得る地震被害（地震被害想定結果）

南加賀地区の被害想定結果

各市町で最も被害が大きくなった地震の被害想定結果を記載
全壊棟数には非住家(納屋や倉庫)を含む

小松市

全壊・全焼 約12,300棟

死 者 約640人

避難者 約33,000人

加賀市

全壊・全焼 約22,200棟

死 者 約1,070人

避難者 約39,800人



川北町

全壊・全焼 約140棟

死 者 約10人

避難者 約520人

能美市

全壊・全焼 約1,700棟

死 者 約70人

避難者 約5,700人

ここでちょっと一息…

? 皆さんが住んでいる町の名前はなんですか？

地名には土地の特徴が反映されています

昔の人々がその土地の特徴（水辺・湿地など）をもとに名付けた地名が多く残っています。

水に関係する地名は要注意！？

「川」「沼」「池」など、水に関連する言葉を含む地名は、かつて湿地や氾濫平野だった可能性があり、地震時に揺れやすく液状化しやすい場所です。

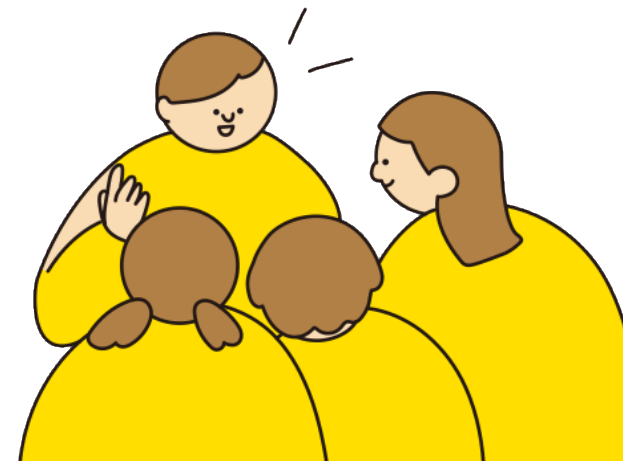
地名と水害 国土地理院



自分の住んでいる場所の過去を調べてみよう

国土地理院の「地理院地図」では、昔と今の地形を比較できる機能があります。

地理院地図の使い方

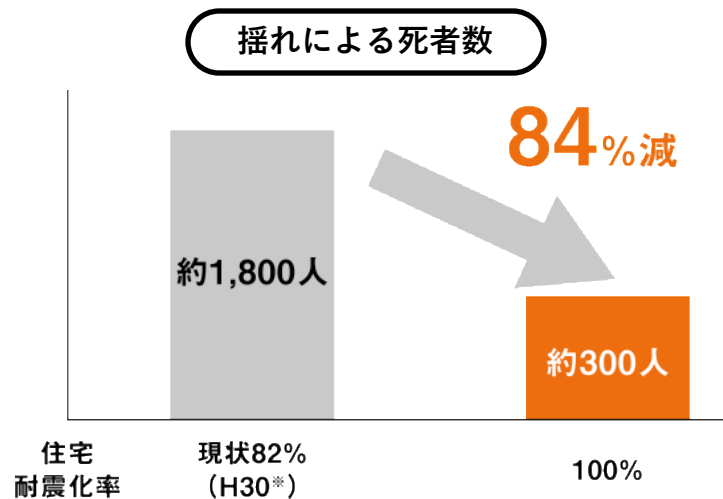


被害そのものを減らすには？

県民の防災対策とその被害軽減効果（森本・富樫断層帯の場合）

建物耐震化率の向上

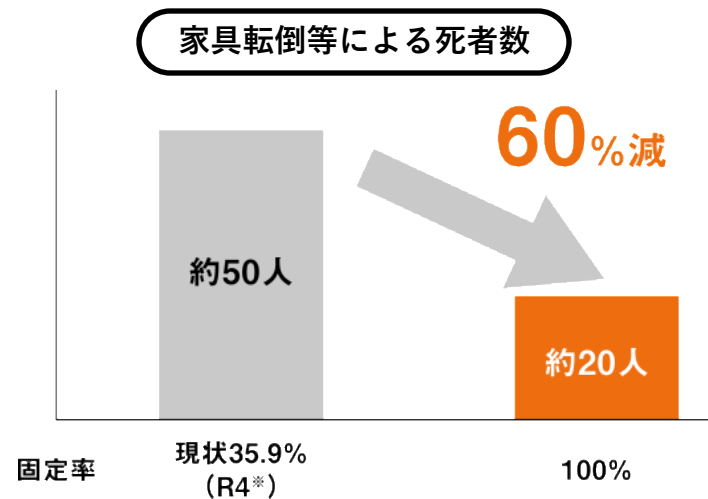
死者数 約8割低減



※住宅・土地統計調査（H30） ※全壊棟数も約8割低減

家具固定率の向上

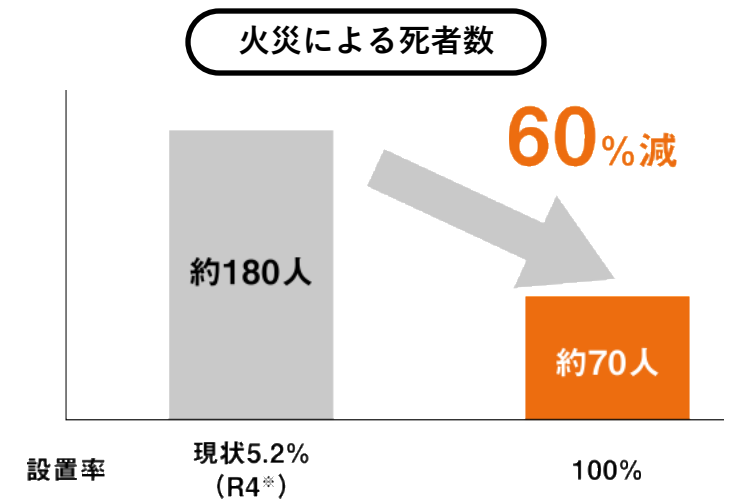
死者数 約6割低減



※「防災に関する世論調査」（内閣府）

感震ブレーカー設置率の向上

死者数 約6割低減



※「防災に関する世論調査」（内閣府） ※全壊棟数も約6割低減

住宅の耐震改修に対する補助制度

石川県では、市町と連携して耐震診断や耐震改修にかかる費用の補助を実施しています。
ぜひこれらの制度を利用して、耐震診断や耐震改修を行うことをご検討ください。

ホームページはこちら

いしかわ 今すぐ 耐震 検索

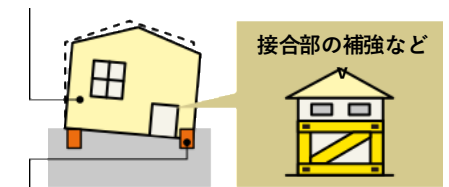


区分	通常	被災住宅向け
対象住宅	S56年5月以前に建築された住宅	地震で被災した住宅（罹災証明あり）
対象事業・ 補助額	簡易型 耐震診断 自己負担なし（図面がない場合は5千円）	
	通常型 耐震診断 15万円（補助率3/4など）	
	補強計画作成	建替え
	耐震改修※傾斜修復を含む	210万円（定額10/10） ※公費解体された住宅は対象外
補助額をさらに上乗せしている市町があるため、詳しくは各市町にお問い合わせください		
その他	●耐震診断により「倒壊の危険がある」と判断されたものが対象 ●傾斜修復はジャッキアップ等により建物を建て起こす工事です 地盤の液状化対策（地盤改良など）は対象となりません	

〔モデルケース〕

小規模な耐震改修に
あわせ傾斜復旧を行う場合

小規模な耐震改修
50万円



傾斜修復200万円

対象事業費：250万円

耐震改修費補助（傾斜修復含む）
：210万円

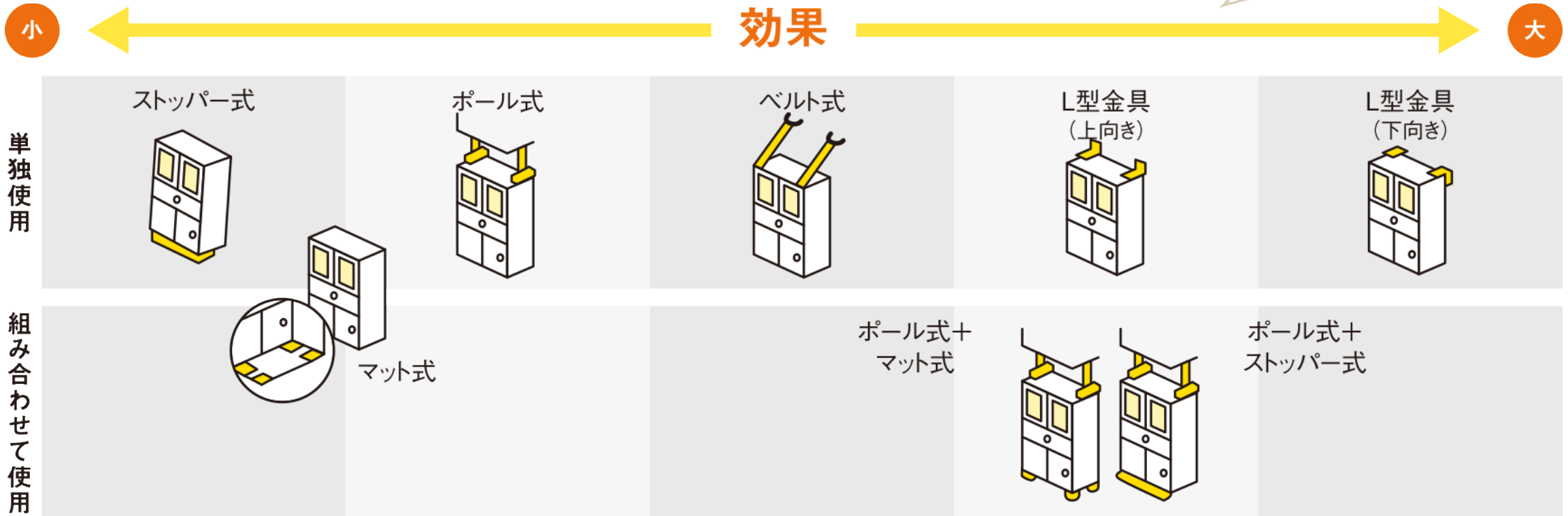
自己負担：40万円

家の中の危険をなくそう

地震の揺れで家具が倒れると、けがや避難の妨げになることも。
家具を固定して安全を確保しましょう。

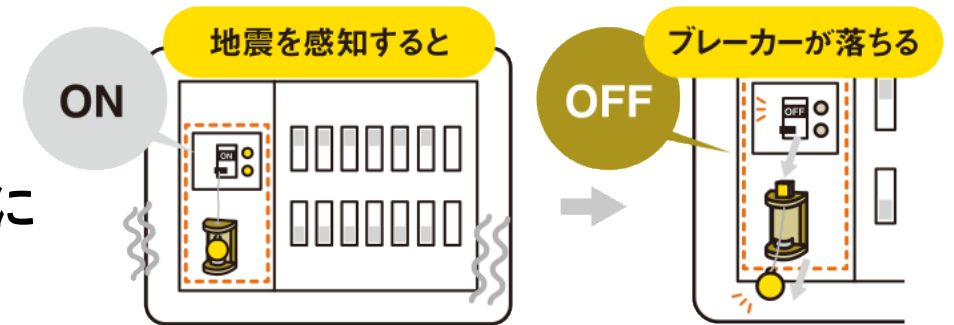
POINT

L型金具を下向きに取り付ける方法が効果大
壁に穴を開けられない場合は、
ポール（つっぱり棒）＋ストッパー方式も



感震ブレーカーの設置に対する補助制度

住宅における感震ブレーカーは地震の揺れを感知し、自動的に電気を止めて、火災を防ぎます。
石川県では、住宅における感震ブレーカーの購入・設置に要する費用に対して、補助を実施しています。



補助対象者

下記①②においては新築住宅を含む

- ① 県内の戸建て住宅・共同住宅等に**居住している方**（各賃貸住宅含む）
- ② 賃貸住宅（戸建て住宅・共同住宅等含む）を**所有する方**
（県外に居住し、かつ県内に賃貸住宅を所有する方も対象とし、
管理会社を含む。原則、全戸に設置）

そのほか、**町内会、マンション管理組合等**の一括申請も可

詳しくは県HP 受付は令和8年3月31日まで



補助対象製品

- 分電盤タイプ（内蔵型、後付型）※1
- コンセントタイプ※2 ● 簡易タイプ※2

※「感震ブレーカー等の性能評価ガイドライン(内閣府)」に基づく、感震機能付住宅用分電盤認定制度（※1）、
消防防災製品等推奨制度（※2）の認証を受けたもの

補助対象製品

- 購入費
- 設置工事費

補助金額・補助率

- 分電盤タイプ（内蔵型、後付型） → **上限3万円**（補助率1/2）
- コンセントタイプ、簡易タイプ → **上限3千円**（補助率1/2）

地震が起きたら？

事前にできること！

- ここでちょっと一息…
- 地震が起きたらまずやること
- 県民一斉防災訓練
「シェイクアウト いしかわ」
- ここでちょっと一息…
- トイレの備蓄、忘れていませんか！
- 災害に備えた食品の家庭備蓄
- 避難用持ち出し袋の準備を！
- 保険には入っていますか？
- 家族と話し合おう
- 防災士を目指しませんか？
- 防災士とその役割
- おわりに



03

ここでちょっと一息…

?

地震警報が鳴った！
大きな地震が来るとき、
一番最初にすることは？

地震が起きたらまずやること

地震時の行動

地震だ！ まずは身の安全

- 揺れを感じたり、緊急地震速報を受けた時は、身の安全を最優先に行動する。
- 丈夫なテーブルの下や、物が「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」空間に身を寄せ、揺れがおさまるまで様子を見る。

高階層（概ね10階以上）での注意点

- 高階層では、揺れが数分続くことがある。
- 大きくゆっくりとした揺れにより、家具類が転倒・落下する危険に加え、大きく移動する危険がある。



地震が起きたらまずやること

地震直後の行動

落ちついて 火の元確認 初期消火

- 火を使っている時は揺れがおさまってから、あわてずに火の始末をする。
- 出火した時は、落ち着いて消火する。



あわてた行動 けがのもと

- 屋内で転倒・落下した家具類や、ガラスの破片などに注意する。
- 瓦、窓ガラス、看板などが落ちてくるので外に飛び出さない



窓や戸を開け 出口を確保

- 揺れがおさまった時に、避難ができるよう出口を確保する。



門や塀には近寄らない

- 屋外で揺れを感じたら、ブロック塀などには近寄らない。



03

地震が起きたら？事前にできること！

県民一斉防災訓練 「シェイクアウト いしかわ」

石川県では、県民一斉防災訓練「シェイクアウト いしかわ」を毎年実施しています。

短時間で、どこでも、誰でも、気軽に参加できる防災訓練です。
ぜひご参加ください！

シェイクアウト いしかわとは…？

身の安全を守る、「しゃがむ」、「かくれる」、「じっとする」の
「3つの安全行動」を実践する新しい形の地震防災訓練です。

詳しくは石川県HPをチェック！



シェイクアウトいしかわ

県民一斉防災訓練

令和7年 7月8日 火 午前11時

短時間で、どこでも、誰でも、
気軽に参加できる訓練です。

緊急地震速報を感知し又は、揺れを感じたら、落ち着いて安全行動を！

地震を想定した身の安全を守る「3つの安全行動」を実践！

①しゃがむ

揺れで転倒する前に
姿勢を低く！

②隠れる

机の下などに入って
頭や首を守って！

③じっとする

揺れが収まるまで
じっとして！

シェイクアウトの基本行動は、

① 指定された日時に

② 地震の揺れから身を守る安全行動を

③ 各人がいる場所で1分程度一斉に行う

さらに
避難場所・
建物の確認

AED体験

持ち出し品
の確認

防災訓練を
機に付けて
おこう

※事前に参加登録をする必要はありません。
※訓練開始の案内はしませんので、訓練を実施する皆様は、それぞれの
場所で自主的に安全行動を実施していただきますようお願いいたします。

お問い合わせ 〒920-8580 金沢市鞍月1-1 石川県危機管理部危機対策課
TEL 076-225-1483 Eメール e170700@pref.shikawa.lg.jp

石川県

ここでちょっと一息…

?

地震の揺れはひと段落。
でも電気も水道も使えなくなってしまった！
一番最初に困ることってなんだろう？

トイレの備蓄、忘れていませんか！

上下水道に水や食料の備蓄を行う人は多くいるのに対し、災害時用のトイレを備蓄している人は2割ほどと言われています。断水や建物の倒壊でトイレが使用できない場合に備えて、トイレの備蓄も行いましょう。

携帯トイレ（1回使い切り）

- 断水や排水不可となった洋式便器等に設置して使用する便袋（し尿を溜めるための袋）
- 吸収パッドや凝固材等で固めて衛生的なので、旅行やドライブに、キャンプやアウトドアに、防災用に、非常用に適している。



簡易トイレ（複数回使用可）

- 小型で持ち運びができる箱型トイレ。
- 使い捨てのものと、洗浄して何度も使えるものがあります。
- 簡易トイレは、下水道設備などの汚物をきちんと処理できる設備がない場所で、これらを衛生的に処理する目的で使われる。



トイレが使えないとき 簡易トイレの作り方

- ①箱やバケツを用意する
- ②ビニール袋をかぶせる。
- ③内側に新聞紙を敷く。
- ④用がすんだら新聞紙をビニール袋にくるんで捨てる。



（写真）「避難所等におけるトイレ対策の手引き」（兵庫県）

成人の平均排泄回数

国が推奨する日数

トイレの備蓄は 1人あたり 5回×7日 = 35回分/週 が必要です！

災害に備えた食品の家庭備蓄

最低でも「3日分」、できれば「1週間分」の食品を家庭で備蓄しておくことが重要

災害発生から上下水道、ガスなどのライフライン復旧まで1週間以上を要するケースが多くみられます。

支援物資が3日以上到着しないことや、1週間はスーパーやコンビニで食品が手に入らないことが想定されます。

1週間分/大人2人の場合

必需品

- 水 2L×6本×4箱 ※1人1日およそ3L程度
- カセットコンロ、カセットボンベ×12本

主食（エネルギー、炭水化物）

- 米 2kg×2袋 ※1人1食75g
- そうめん300g×2袋、パスタ600g×2袋
- カップ麺類×6個、パックご飯×6個

主菜（たんぱく質）

- レトルト食品
牛丼の素、カレー等18個、パスタソース6個
- 缶詰 お好みのもの18缶

副菜、その他（適宜）

- 日持ちする野菜類（たまねぎ、じゃがいも等）
- 調味料（砂糖、塩、しょうゆ、めんつゆ等）
- 梅干し、のり、乾燥わかめ など

ローリングストックのイメージ

備える

少し多めに食料を買っておく



買い足す

消費した分だけ
新しく購入する

食べる

期限が近いものから
消費する

26

保険には入っていますか？

保険について知ろう

〔生命保険〕

- [負傷・死亡した場合] 保険金が支払われる。
- [災害特約] 災害で負傷・死亡したときに、保障額が大きくなるタイプのものもある。

具体的な保障内容は、保険会社によって異なるので確認しましょう。

〔火災保険〕

一般的な総合型の火災保険の場合、

- [損害補償対象] 火災、風水害・雪害・落雷など
- [補償対象外] 地震・噴火・津波が原因の火災

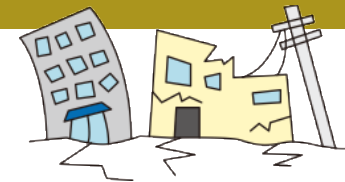
※補償の範囲は損害保険会社や商品により異なるため確認が必要。



火災保険では、地震や津波の補償はされない
ので注意。

〔地震保険〕

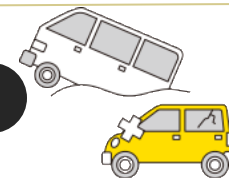
地震・噴火・津波が原因の損害を補償



- 火災保険とセットのため、地震保険単独では契約はできない。
- 住宅と家財にかけることができ、火災保険の契約金額の30～50%で設定可能。
- 限度額は建物：5,000万円、家財：1,000万円。

〔自動車保険〕

地震・噴火・津波危険特約



一般的な車両保険は、

- [契約補償対象] 台風・洪水・高潮などによる損害
- [補償対象外] 地震・噴火・津波などによる損害

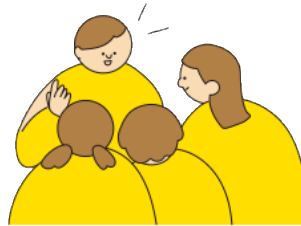
これらの災害に備えるには、「地震・噴火・津波危険特約」をつけることが必要となります。

家族と話し合おう

日ごろからコミュニケーションを取ろう

家族会議を開こう

いざというときに自分や家族全員の命を守るため、普段から防災について家族で話し合おう。



- 必要な備蓄品や非常持ち出し品
- 家の安全対策
- 家族などの連絡先の確認
- 災害発生前後の役割分担
- 避難場所・避難所の確認
- 災害時の身の守り方・避難の仕方
- 被災後の生活

豆知識：「避難場所」と「避難所」の違い

避難場所（指定時緊急避難場所）

災害の危険から逃れるため、一時的に避難する場所として、災害種別ごとに市町村が指定している学校や公園など。

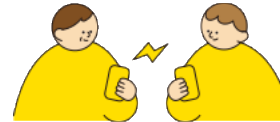
避難所（指定避難所）

災害によって自宅での生活が困難になった人が、一時的に生活する場所として市町村が指定している学校や公民館など。

ご近所付き合いをしておこう

日ごろからご近所の方とお付き合いしていれば、災害時の助け合いがスムーズ。実際に命が助かった事例もある。

- 電話番号など連絡先の交換で安否確認が速やかに。



- 避難場所に連れていってもらえる。



- 両親が不在のときに子どもを預けられる。



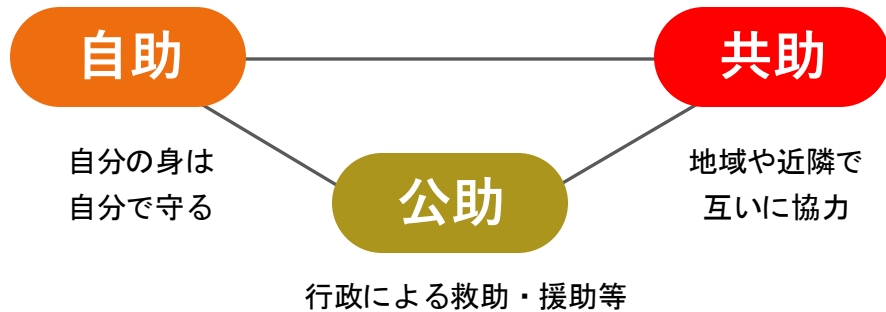
- 「あの人が見当たらない！」と気づいてもらえることも。



災害時、客観的な情報を得るために
遠方の親類・知人とも連絡をとれるようにしておきましょう。

防災士を目指しませんか？

防災の基本となる3つの活動



防災士とは

日本防災士機構が認証する民間資格

「“自助”“共助”“協働”を原則とし“公助”との連携充実につとめて、社会の様々な場で減災と社会の防災力向上のための活動が期待され、さらに、そのために十分な意識・知識・技能を有する者として認められた人」

「共助」の重要性を踏まえ、県と市町が連携し、防災士を育成

石川県の防災士数の推移

H18年度末

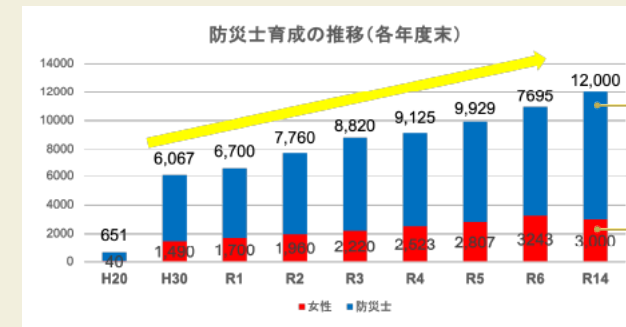
248人

R7.3月末

10,940人

(うち女性 3,243人※)

※防災士数（人口比）で全国5位、
女性防災士数（人口比）で全国4位



1町会3人以上

女性防災士
1避難所3人以上

おわりに

- 全国で自然災害がたくさん起きていますが、「自分には関係ない」と思わずに、一人ひとりが「**自分のこと**」として考えることが大切です。
- 自分の住んでいる地域にどんな災害のリスクがあるのかを知り、その情報を家族や近所の人たちと共有しましょう。
- まずは家庭でできることから始めて、少しずつ近所や地域全体にも防災の取り組みを広げていくことが大切です。

実践いただきたい事項

- ▶ 建物の耐震化、食料等の備蓄、家具の固定
- ▶ 各種ハザードマップの確認
- ▶ 市町、地区の防災訓練へ参加
- ▶ 勉強会等に参加し、地域の災害リスクを知ること
- ▶ 防災士資格の取得



被害想定に関する
情報はここから

石川県地震被害想定 検索



ご静聴ありがとうございました

ご不明な点やご相談などありましたら

以下の宛先まで

E-Mail:e170700@pref.ishikawa.lg.jp

TEL:076-225-1483